

聖書の人名にエル(エリ)やヤ(ヤー)がつくものがたくさんありますが、これらは何をあらわしていますか。

主として旧約聖書中のヘブライ語に由来するもので、エル、ヤ(ヤー)は神、主を表しています。たとえば、以下はその一部ですが、非常にたくさんの方がいます。

ヨエル(יְאוֹל--ヤーウエは神)、アビヤ(אֲבִיָּא--ヤーウエは私の父)、ゼカリヤ(זְכַרְיָא--神は覚えておられる、おられた)、ネヘミヤ(נְהֵמְיָא--神は慰められる)、エリヤ(אֵלִיָּא--私の神はヤーウエ)、イザヤ(יְשַׁעְיָא--神は救われる、神は救い)、エゼキエル(אֶזְקִיָּא--神は強められる、力づけられる)、ダニエル(דָּנִיֵּאל--神は私の裁き主)、オバデヤ(אֲבַדְיָא--神のしもべ)、ゼファニヤ(זְפַנְיָא--神は覚えられる)

なお、クリスマスが近づいてきますので、余談ながら、「ハレルヤ・コーラス」の「ハレルヤ」は詩編 104 編 35 節の最後にある言葉でהַלְלוּ אֱלֹהִים は英語で”Praise the LORD”、すなわち「主(神)をほめよ」です。前半の「ハレル」はヘブライ語で「ハルルー」(הַלְלוּ --ほめよ)、「ヤー」(יְ)は主(神)を表しますが、この「ヤー」はヘブライ語でダゲシュという記号がつけられており、とくに強く発音されます。